

Business Presentation

秋田銀行アントレカフェでモデレーターを務めました

2018年2月13日、パーティーギャラリーイヤタカ（秋田市）にて、秋田銀行創業サポータークラブ主催「アントレカフェ」のパネルディスカッションが開催されました。

長谷部代表はモデレーター及び当日行われた秋田銀行・秋田県信用保証協会共催のビジネスプランコンテストの審査委員も務めました。参加者は約70名でした。

パネルディスカッションのテーマは「秋田における持続可能なビジネスモデルの構築」であり、パネリストは、NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト・坂本純科氏（余市町）、税理士・瀧谷和隆氏（札幌市）、㈱Kedama・武田昌大氏（五城目町）、高茂合名会社・高橋泰氏（湯沢市）の4人が務めました。ディスカッションでは、先ず、パネリストから自らの事業に係る持続可能性を追求するためのマーケティング戦略（STP/4P）、組織戦略、地域社会との関わりなどについて説明、次に、NPO指導のエキスパートである瀧谷税理士から、「社会的起業家（Social Entrepreneur）」の概念についての解説がありました。

フロアからは、武田氏の事業についての4Cの切り口からの取組状況や坂本氏のエコロジー普及イベントの運営状況についての質問がありました。

エコビレッジへは昨年11月にアーセプトコンサルティング㈱も事前視察を実施し、エコビレッジの事業内容の確認のほかワイン特区として6次産業化された余市町の取組や北海信用金庫様への訪問など、地方創生や地域金融機関の戦略などを学びました。

